

薬害エイズ裁判

和解 15 周年記念集会

2011 年 3 月 26 日 (土) 14:00 ~ 16:00

薬害エイズ裁判の和解から 15 年、一つの節目を迎えます。
多くの被害者が、今も重篤な疾患と闘い、悲しみの中にいます。
未曾有の薬害エイズ被害、

「被害者への恒久対策は本当に進んでいるのでしょうか。」

私たち東京 / 大阪原告団・弁護団は日本を襲った未曾有の薬害事件の記憶を風化させないため、また、亡くなっていった被害者を追悼するために、和解記念集会を毎年、和解が成立したこの時期に開催しております。

節目の年に、もう一度また、再びこの被害について振り返り、被害者のこれからについても考える機会としたいと考えております。

和解当時ご支援いただいた多くの皆様には、ぜひご参加いただけますよう、お願いいたします。

主 催: 東京 HIV 訴訟原告団 / 弁護団

大阪 HIV 訴訟原告団 / 弁護団

事務局: 社会福祉法人はばたき福祉事業団

● プログラム ●

黙祷・献花

来賓挨拶

講演

長崎大学大学院 教授
山下 俊一 先生

主催者挨拶

日時: 2011 年 3 月 26 日 (土) 14:00 ~ 16:00

場所: 東京ステーションコンファレンス 5 階 503B + C + D

東京都千代田区丸の内 1-7-12 サピアタワー

TEL: 03-6888-8070

講師紹介

長崎大学大学院 教授 山下 俊一 先生



医師。専門分野：内分泌・代謝学、分子生物学、国際放射線保健学。1952 年長崎生まれ。長崎大学医学部卒業。1984 年 7 月 UCLA Cedars-Sinai Medical Center 内分泌研究員（1987 年 3 月まで）。1990 年 10 月長崎大学医学部教授。2004 年 12 月 WHO ジュネーブ本部（世界保健機関）放射線プログラム専門科学官（2006 年 12 月まで）。現在、長崎大学大学院医歯薬学総合研究科長。グローバル COE プログラム「放射線健康リスク制御国際戦略拠点」リーダー。主な学会活動は、日本甲状腺学会理事長、日本内分泌学会理事。第 28 回内分泌代謝学サマーセミナー会長、第 53 回日本甲状腺学会学術集会会長。アジア大洋州甲状腺学会理事。チェルノブイリ医療協力 20 年、セミパラチンスク地域医療支援 15 年の活動歴。現在、厚生労働科学研究エイズ対策研究事業「HIV・HCV 重複感染血友病患者の長期療養に関する患者参加型研究（指定型）」班の主任研究者として、被害救済医療に新しい視点からの提言をさせていただいている。

会場のご案内

東京ステーションコンファレンス 5 階 503B



● お問い合わせ先

社会福祉法人はばたき福祉事業団

東京都新宿区新小川町 9-20 新小川町ビル 5F

TEL:03-5228-1200/FAX:03-5227-7126

E-mail:info@habataki.gr.jp

特定非営利活動法人ネットワーク医療と人権

大阪府大阪市北区西天満 6 丁目 2-14-805

TEL:06-6364-7677/FAX:06-6364-8099

E-mail:info@mers.jp